多摩支部会報第 58 号

2024 年 1 月吉日発行

迎　春　号

年頭のご挨拶

高幡不動尊不動堂五重塔

（写真提供：高幡山金剛寺）

校友会の皆様、新年あけましておめでとうございます。日頃は校友会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、多摩支部創立 20 周年を迎え、コロナ禍を 乗り越えて校友の皆様と一緒に祝うことが出来ましたことは、真にご同慶の至りでございます。

特に、その記念事業として発刊した「MEIJI メイトブック」は大変好評で、北野校友会長におかれましては、折に触れて全国の各支部に PR して頂いております。

今年より 30 周年に向け新たなスタートが切られた訳ですが、先ずは多摩支部のスローガンである「明治はひとつ、3C で繋ごう多摩支部の絆」の下、校友の皆様同士が Face To Face で Contact を取り、Communication を図りながら、母校明治大学の発展に寄与するという Consensus に向けて深い絆を築いてまいりましょう。

2024 年は十干では甲、十二支では辰にあたる甲辰の年となります。この二つが合わさる甲辰は、新しいことを始めると成功する等極めて縁起の良い年になると言われています。コロナ禍を脱して迎える2024年。校友の皆さん、一緒に何かを始めてみませんか！

今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

明治大学校友会　多摩支部長

土屋　栄一

箱根駅伝予選会

（2023・10・14）

明大全国校友愛知大会

（2023・11・19）

ラクビー明早戦

（2023・12・3）

新年のごあいさつ

校友会長　北野大

日本国内および海外におられる校友の皆さまに、また、関係者の皆さま、あけましておめでとうございます。

われらが母校明治大学は 1881 年、3 人の若き法学者による建学後、いよいよ 2031 年に創立 150 周年を迎えます。

さて、コロナ禍で校友会活動は大きな影響を受けてきましたが、幸いに昨年は 4 年ぶりに全国校友愛知大会が約 800 人の校友の参加を得て盛大に開催できました。

この全国大会開催に向け多大なご尽力をいただいた西脇委員長、大藪支部長をはじめとする愛知県支部の皆さんに心からお礼を申し上げます。

今年は 9 月 28 日、29 日に香川県で全国校友大会が開催されます。多くの校友の参加をお待ちしております。

2023 年度の校友会活動を振り返りますと、コロナに感染しないよう万全の措置を講じながら、多くの支部で対面での支部総会、講演会を開催することができました。これらの会には大学から柳谷理事長、大六野学長をはじめ、多くの役員にご出席をいただき、その支部ごとの詳細な資料（入学者の出身高校、卒業生の就職先など）を基に大学の状況についてご説明いただきました。

これらの資料は、校友相互の親睦および母校支援の大きなツールになるものと確信しております。ありがとうございました

校友会活動の目的は母校の支援、校友相互の親睦ですが、私はコロナ禍を契機に、緩い意味での校友相互の支援を推奨しております。例えば、校友が経営するホテル・旅館、お店、食堂を利用したり、さらには士業関係では 8 つの士業会からなる明治大学士業会に相談することなどです。

また、支部総会や公開講演会などにおいては、校友のアトラクションや講師を依頼することを推奨しています。

そのためにも、業種別校友リストの作成など必要な準備を始めたいと考えています。

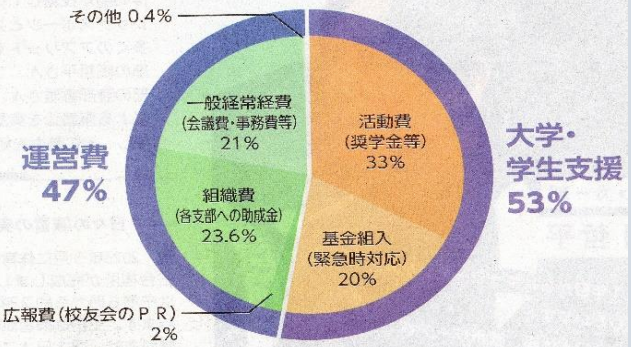
この 1 年が校友の皆さんにとって良い 1 年となることを祈願し、新年のごあいさつとさせていただきます。

（明治大学広報 2024 年 1 月号より）

明治大学校友会教育・研究振興資金にご協力ください！

「明治大学校友会教育・研究振興資金」は、今後、少子化やグローバル化が進む中で、奨学金を含めた新しい形での母校支援金に役立てるために、**学生への奨学金および学生団体への助成等を目的**とした資金です。寄付の詳細は、下記のホームページをご確認ください。当資金へご寄付いただいた場合、所得税の寄付金控除の措置を受けることができます。（詳細はこちらから https://www.meiji.ac.jp/bokin/tax/exemption.html）

ぜひ、母校の発展と校友会の学生支援活動にご協力ください。



ホームページ　https://www.meiji-shikon.net/?page_id=6747

寄付制度に関する問い合わせ　大学支援部 校友連携事務室
TEL：03-3296-4726　FAX：03-3296-4728

申込方法に関する問い合わせ　大学支援部 大学支援事務室
TEL：03-3296-4057・4059
FAX：03-3296-4366

第60回 全国校友香川大会　おいでまあせ　お接待の心　うどん県。

年に一度、全国各地の校友が一堂に会し旧交を温める「全国校友大会」。第60回目となる2024年度大会は香川県高松市で開催されます。

日　時　**9月29日(日)**

会　場　サンポートホール高松（大ホール）／ＪＲホテルクレメント高松

プログラム　【9月28日】前夜祭（会場：ＪＲホテルクレメント高松）
【9月29日】大会（会場：サンポートホール高松（大ホール））、懇親会（会場：ＪＲホテルクレメント高松）

担当旅行会社　ＪＴＢ高松支店　TEL：087-822-0033　お申し込み窓口　未定

清瀬地域支部

100回を迎える「紫紺句会」

「紫紺句会」は清瀬地域支部設立（H24年2012年）2年後の平成26年（2014年）に発足しました。清瀬市の平林寺句会に所属している柾谷栄吾氏（S46法）が中心となり、同じく校友の大山恭子氏（S45文　俳号　細見逍子）を先生にお迎えし、国分寺地域支部の中西氏、小林氏のご両名もご参加いただき13名でスタートしました。その後東久留米地域支部からのご参加もあり三地域支部連携の形にもなりました。基本、毎月第二金曜日の午後に開催され、以降猛暑の8月は休会とし、コロナ禍での中止も余儀なくされましたが、雨の日も、風の日も、雪にも、夏の暑さにも負けずに精進し、令和6年2月にはめでたく第百回を迎えることが出来ました。先生の優しいご指導、代表の柾谷氏のリーダーシップによるところが長続きの秘訣とは思いますが、参加される皆さんのひたむきな努力と和気藹々とした雰囲気が大きいと思います。1年ごとの句集を佐藤房夫氏（S39工）の手によって発行されています。十年にもなれば膨大な句集となっています。「宗匠」と呼ばれる方も続々誕生しています（笑）。句会後の反省会と称して一杯やるのも楽しいものです。しかし、俳句の出来の反省は・・・・

「紫紺句会」の活動は月一回の句会以外にも活動の場があります。清瀬市と石田波郷俳句大会実行委員会主催のサポート活動として、毎年11月に開催される「石田波郷俳句大会」の運営のお手伝い、並びに毎年5月～7月に市内小中学校への「俳句出前授業」のお手伝いにも参加しています。小学一、二年生と会話するのも楽しいものです。市内の公園を散歩中に2～3名の小学生が駆け寄ってきて、「俳句の先生」と呼ばれてニヤニヤしている校友もいます。

「紫紺句会」は令和6年6月に十周年を迎えます。近隣地域支部の方々にもご参加いただき更なる地域連携を図るべく今から企画を練っております。「特待生」「才能あり」を目指して、是非のご参加をお待ちしております。〈記・粕川偉三男（昭48・政経）

石田波郷俳句大会表彰式（小中学校の部）

俳句出前授業

武蔵野地域支部

「歩こう会」

～毎月、武蔵野近郊の寺社・名所＋季節を感じる場所へ

武蔵野地域支部には、「歩こう会」という名のサークルがあります。
毎月、武蔵野近郊の寺社や名所、それに季節を感じる場所を日帰りで歩きます。
最初は、弁当を持参して歩きましたが、この 10 年前から昼飯は、現地の食堂で食べる事にしています。従って、12 時頃には、帰りの駅に着き、美味しそうな食堂を皆で探して、人数分が確保できる店を探したら〝カンパイ“です。

駅が近くなると、全員が好みの店を探します、これが楽しみで参加している人もいます。人気のコースは、正月は、“武蔵野吉祥七福神めぐり”と新年会、早春は、梅を訪ねて府中の「郷土の森」からサントリーの工場見学をして、ただのビールを飲む。桜のシーズンは、「野川」の遊歩道を歩き、「深大寺」の蕎麦屋で乾杯。花菖蒲を見に、皇居の三の丸公園を巡り、そこから築地へ行き、寿司を食べるか、月島で“もんじゃ焼き”を食べる。夏は、玉川上水を歩き、「小金井公園」でバーベキューなど。

プランは毎年 12 月に翌年 1 年分のプラン表を作成して、それを 3、4 人で担当している。昔は、「武蔵野 33 観音めぐり」を何回かに分けて、達成したこともあったが、近頃は、都内の公園巡りが多くなってきた。これも私も含めて、会員の老齢化のせいかも。

〈記・伊藤則義（昭 43・商)〉

皇居御苑の花菖蒲

代々木公園の河津桜

清澄庭園

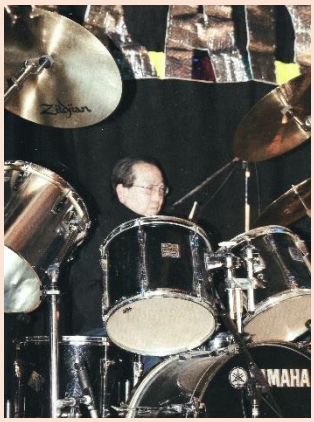
素晴らしきかな人生　*It's a Wonderful Life*

～多摩支部の皆様のご寄稿から

ロックバンドの生涯現役ドラマー

望月啓介（国分寺地域支部、昭 49・法）

私は、大学 4 年間クラブ活動で音楽研究部に所属し、カントリー＆ウエスタンの「カントリーアローズ」というバンドでドラムスを担当しておりました。小学校高学年からずーっとドラムスを叩きたいと思い続け、やっと念願が叶い、充実した学生時代を過ごしました。



大学を卒業し、明大先輩の石津謙介が社長の「ヴァンジャケット」に入社しました。そして 16 年間、平日は仕事、土日はドラムスを叩くという音楽人生を歩んでおりました。39 歳で転職し、取締役営業本部長という重責を担うことになり、仕事が忙しく、16 年間ドラムスには一切触れませんでした。しかし、55 歳の時に大きな転機が訪れ、私のアイデンティティは何なのかと自分自身に問いかけ、秘かに音楽スタジオで一人、ドラムスを叩き始めました。数年一人で練習してきましたが、どうしてもバンドが組みたくなり、国分寺市在住のギタリスト、ベーシスト、ボーカリストを 1 年がかりで探して、やっとメンバーを募り、バンド名を、メンバーの名前の頭文字を繋いで「TSYM」という名にして、国分寺市光公民館主催のライブ「ピカロック」に参加し、演奏しておりました。その後、埼玉県在籍のキーボード奏者を加え、5 人編成で様々なライブ演奏をしてきました。

コロナ禍で 4 年間は活動休止していましたが、一昨年の 12 月末に続き、昨年 12 月 23 日には、東京赤坂のライブハウス「エル・カミーノ」で、急用で参加出来なくなったキーボードを除く、4 人でエリック・クラプトン、ジンジャー・ベーカー、ジャック・ブルースのバンド「クリーム」の 50 年以上前のヒット曲で、ホワイトルーム、サンシャインオブユアラブ等ブルースロックを演奏しました。ライブ終了後、「エル・カミーノ」のオーナーで、「ベンチャーズ」のギタリストノーキー・エドワーズの日本のプロモーターをされていた戸田氏のギターで、ウォークドントランやラテンロックの「サンタナ」のヒット曲、ブラックマジックウーマン等を共演し、最高に楽しい心あたたまる感動的な演奏が出来ました。

現在、73 歳ですが、まだまだ現役でドラムスを叩き続けます。いつまでも・・・・。

（明治大学音楽研究部 OB 会会長）

素晴らしきかな人生　*It's a Wonderful Life*

～多摩支部の皆様のご寄稿から

山と共に「前へ！」進み、目指す百名山

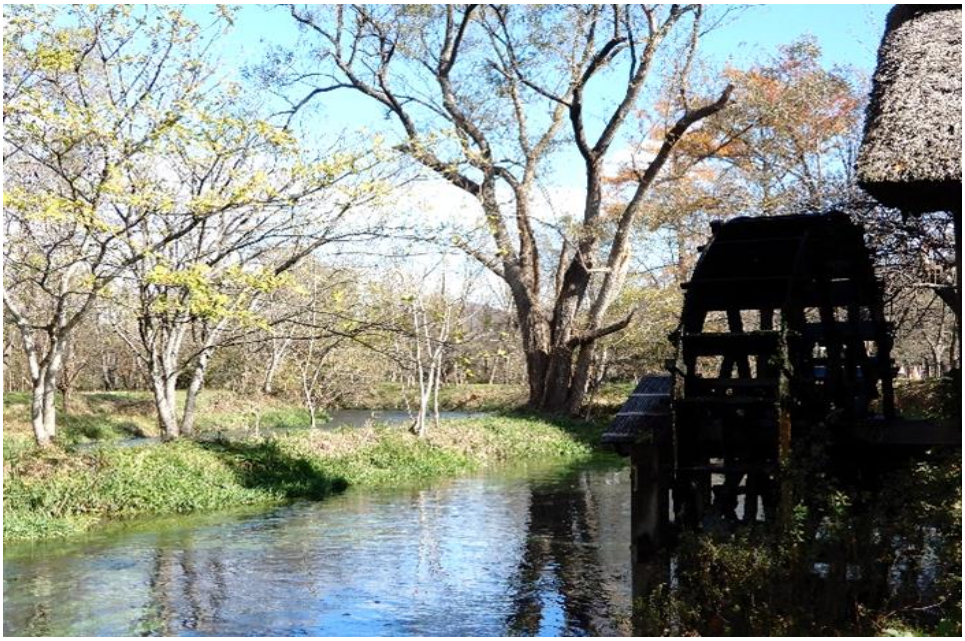
岩崎　政典（小金井地域支部、平成３・政経）

今年還暦を迎える私が山と出会ったのは、今振り返ると幼少期を過ごした故郷福島で農作業の合間に父に連れられ、タラの芽やキノコ採りなどで山歩きをしていたのがはじまりでした。高校入学後、山岳部に入部し、春の新人歓迎山行、夏山合宿、(先輩の)追出し山行などで県内外の吾妻山、会津駒ヶ岳、蔵王連峰などの百名山を頻繁に踏破していましたが、当時は"百名山"という言葉など知らずに普通の高校生の部活動として、時折バテながら、焦げ付いたご飯やカレーを食べながら、仲間と楽しく登っていました。　社会人になり本格的に"百名山"という言葉を意識し、山に入るようになったのは、働き出して 10 年ぐらい経った頃、突然、父から「死ぬ前に富士山に登っておきたい」と連絡があり、一緒に寒さの中ご来光を拝んだ頃かもしれません。以降、仕事のストレス解消や、頂上からの眺め、爽快感が恋しくなった時にぽつぽつと登って来ました。いつの間にか父宛の年賀状に「昨年は○○を制覇、今年は○○に挑戦！」を書き込むことが年中行事になっていましたが、そんな父も 2 年前に他界し、今は墓前に不定期に山行報告と感謝を伝えています。ここ数年の山行で最も困難であった登はんは、2022 年 8 月の新潟県巻機山 1967ｍでした。粘土質の山道に登山靴が何度も嫌われたが、それより困難であったのは、この山行が近くの沢登り中に滑落死した先輩の慰霊登山であったことでした。事故のあった滝壺が見えた頃には、大粒の涙がこみ上げ、自然と懐かしい話を 1 人でぶつぶつ言いながら頂上を目指していました。享年 60 歳の短い人生でしたが、彼の分もこれから登り続けようと思います。山登りは、自分の生き方にも、とても役立ち、例えば、安全で快適な山行のためには、必要最小限の荷物を準備、携行し、正確な登はん行程の計画が必要です。この意識は、普段の仕事や通勤時の階段登りなど生活面にも自然に生かされ、大抵のことがうまくこなせるようになっていました。自分の生き方、健康管理など山に随分と助けられて来たような気がします。ここ数年で踏破数は徐々に増えましたが、2023 年末現在で未だ 27 山程度。ガイドブックでは"40 年以上かけて登った人もいれば、5～6 年で制覇した人も、1 年で完登した例もある"とのこと。**百名山踏破を目指している人の考え方、生活、経済事情は様々であり、私はもっぱら前者の方だと考えています。これまでの人生で培った自分と山との距離感、想い出を大事にしながら、気負うことなく、他の楽しみも味わいながら、今後も自然体で挑み続け、山と共に前へ進んで行きたいです。**

福井県：荒島岳

Photo Gallery

国分寺地域支部　出渕恵介（昭 40・工）



信州　安曇野市穂高町

府中　武蔵野の森

府中　武蔵野の森

府中　郷土の森博物館

明治大学全面広告（日本経済新聞：2024・1・1）

B17 第三部　【全面広告】　日本経済新聞　2024年（令和6年）1月1日（月曜日）

「個」を強くする大学
明治大学

＼QuizKnock 須貝さんと学ぶ／

「愛ある金融」で投資は身近に

2023年12月、東京ビッグサイトで「SDGsWeek EXPO エコプロ2023出張授業」が開かれた。
登壇したのは「愛ある金融」を説く明治大学商学部・三和裕美子教授と、東京大学発の知識集団「QuizKnock（クイズノック）」の須貝駿貴さん。
2人は「クイズで知る、身近な投資！社会をよくするお金の流れ」をテーマに、会場に集まった中学生らと投資について考えた。

Quiz

つぎのうち、ESG投資はどれでしょうか？全て選んでください。

- A 温室効果ガスの排出量の削減に取り組む 企業に投資する
- B 男女平等を掲げ女性の管理職の多い 企業に投資する
- C 働きやすい環境の改善に取り組む 企業に投資する

正解…A・B・C全て

記事のロングバージョンは「Meiji.net」から

投資は企業への応援

出張授業は登壇した三和教授と須貝さんの「投資に対するイメージ」の話から始まった。近頃、投資に関心を持つ若者が増えてきている一方で、「投資は一部のお金持ちがする近寄りがたいもの」というイメージもあるのではないかと問いかけた。須貝さん自身も、学生時代に父親から投資について教えてもらったものの「当時は自分とはすごく遠い話だと思ってしまった」というエピソードを語った。

「投資は遠い存在」というエピソードに対し、三和教授は「例えばコンビニでフェアトレードのチョコレートを買うことは、製造元の企業や社会への応援につながる。その意味では投資も同じように考えられる。投資について、『分かりにくい』などと捉えがちなのは、株式市場で株価の上下の動きだけを見ているからではないか」と指摘した。「環境に良い事業をしているから」「好きな商品をずっと使いたいから」など企業を応援する気持ちがあれば投資はもっと身近なものになるという。

明治大学 商学部
三和 裕美子（みわ ゆみこ）教授
研究分野：証券市場論、機関投資家論
研究テーマ：機関投資家とコーポレート・ガバナンス、機関投資家のESG投資

QuizKnock
すがい しゅんき
須貝 駿貴氏
東京大学大学院総合文化研究科後期博士課程修了。2017年、東大発の知識集団・QuizKnockに加入。資産運用に関する講演会やYouTubeへの出演など、金融教育にも取り組む。

年金通じて投資に関わる

「実は、私たち全員が将来の年金を通じて、おのずと投資に関わることになるんです」

三和教授は投資が身近な存在である例として、世界最大の機関投資家で、資本市場のクジラとも呼ばれる年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）による年金の運用についても取り上げた。利益を上げることも大事だが、国民の年金を運用している法人だからこそ、「環境や人権問題に配慮した企業への投資が求められている」と説明。企業も社会に対する責任が問われ、社会課題の解決に真摯に取り組む企業へ投資が集まっていることを紹介した。

愛ある金融

三和教授の研究テーマの一つは「機関投資家」。大規模な運用を行うからこそ、彼らがどんな事業へ投資するかによって、社会を変えるほどの影響力を持つ。機関投資家の責任について考え、みんなを幸せする理想的なお金の流れを、三和教授は「愛ある金融」と呼んでいる。

クイズで知る身近な投資！

出張授業の後半は三和教授からのクイズタイム！須貝さんも会場の中学生に「バトルしようぜ！」と呼びかけ盛り上がった。クイズはESG投資（※）についてなど全5問。「エシカル消費」についてのクイズでは、須貝さんが「エシカルは『倫理的な』という意味なので、人権や環境に配慮した企業の商品を買うということですね！」と名答。須貝さんがコーヒーショップを訪れた際に、児童労働をさせないコーヒー農園の豆を使っていることを知り安心して商品を購入できたという経験を話した。

「三方良し」こそESG投資

左上図のESG投資に関するクイズの正解は、実はABC全て。ESG投資も研究分野とする三和教授は「人的資本という言葉が使われるように、地球環境だけでなく、労働者が働きやすい環境の改善も、企業の重要な役目なのです」と説明を加えた。

最後のクイズでは、日本では昔から「近江商人の『三方良し』という心得があることを紹介。売り手（企業）・買い手（消費者）・世間（社会）の三方がみな良くなるという考え方で、現在のESG投資やエシカル消費につながる心得として改めて注目されていると解説した。三和教授は「『世間』がグローバルに拡大している中で、地球環境や人権に配慮した企業への投資は、未来の社会を変えます。これを私は『愛ある金融』と呼んでいます」と締めくくり、投資をもっと身近に捉えてほしいと呼びかけた。

※ESG投資…Environment（環境）・Social（社会）・Governance（企業統治）の課題解決に資する投資のこと。

広告　企画・制作＝日本経済新聞社Nブランドスタジオ

Expand the World

研究ってなんだろう？

それは、まだ見えていないものを発掘し
産まれていないものを産み落とし
思い込みで絡まった糸を解きほぐす
私たちの「世界を広げる」仕事

明治大学の研究者たちが見据えている
あたらしい世界
どんな世界が待っているのか
覗いてみましょう

研究とあなたの世界をつなげるWEBメディア
Meiji.net

「研究者の視点」を発信
Meiji.netは、明治大学の「知」を発信するWEBメディアです。さまざまな研究者が社会と向き合い、専門分野を分かりやすく伝えています。

Since2013>>>　メイジネット

（明治大学広報 2024 年 1 月号より）

明治大学博物館 2024年の展覧会

■ **明大スポーツ新聞 創刊70周年記念特別展示**
スポーツの原点は「ホイッスルにはじまり、ホイッスルにおわる。」
［会期］ 2月5日(月)～3月16日(土)　入場無料
［主催］ 体育会明大スポーツ新聞部、明大スポーツ新聞部ＯＢ会明和会

■ **女性法曹養成機関のパイオニア－明治大学法学部と女子部－**
［会期］ 3月25日(月)～10月28日(月)　入場無料　［主催］ 明治大学史資料センターほか

■ **連続テレビ小説「虎に翼」展**
［会期］ 3月25日(月)～10月28日(月)　入場無料　［主催］ 一般財団法人ＮＨＫ財団

■ **新収蔵・収蔵資料展2024**
［会期］ 11月11日(月)～12月14日(土)　入場無料　［主催］ 明治大学博物館

［開館時間］ 月～金10:00～17:00（入館は16:30まで）　土10:00～16:00（入館は15:30まで）
［休館日］ 日・祝日　8／1～9／19の土曜、11／1、12／26～1／7、1／17
［問い合わせ］ 博物館事務室　03-3296-4448

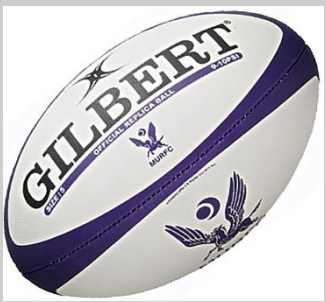
※都合により会期およびタイトルなどを予告なく変更することがあります。

「女性法曹養成機関のパイオニア－明治大学法学部と女子部－」女子部校舎と三淵嘉子（右下）

明大サッカー部が第 72 回全日本大学サッカー選手権大会で、優勝

第 72 回全日本大学サッカー選手権大会の決勝戦が 2023 年 12 月 24 日（日）、茨城県のカシマスタジアムで行われ、明大体育会サッカー部は、京都産業大学に 2－0 で勝利し、3 大会ぶり、4 回目の優勝を果たしました。この大会は、全国各地域のリーグ戦上位チーム（計 24 チーム）が争うトーナメント方式で、明大は、関東地区第 3 代表として出場。順当に勝ち上がり、迎えた 12 月 24 日（日）の決勝戦では京都産業大学と対戦しました。

決勝の前半戦は、京都産業大学の堅守に阻まれ拮抗した展開が続き、0－0 のまま終了。後半戦は、3 分に FW の中村草太選手（政経 3 年）が先制のゴールを、続く 8 分には、田中克幸選手（商 4 年）が追加得点を決め、見事勝利しました。（明大 HP より）

全国大学ラクビー選手権大会、決勝進出、日本一まであと一つ！

第 60 回全国大学ラクビー選手権大会は、5 大会ぶり 14 回目の優勝を目指す明大が決勝に進んだ。関東大学対抗戦 2 位の明大は前半に 4 トライを挙げて試合を優位に進め、関西リーグ 3 連覇の京産大を 52－30 で振り切った。明大の意地を見せたトライが 2 大会ぶりの決勝を引き寄せた。明大伝統の強力 FW 陣。ただ、京産大を苦しめたのはそれだけではない。奪った 8 トライのうち、6 トライは、バックス陣。序盤から速いテンポでボールを回し、相手に正確なタックルを許さなかった。創部 100 年を迎えた今季、明大のラクビーは、幅を広げている。神島監督は言う。「現代版の明治のラクビーをしっかりつくれるように」。FW に頼らず、スピードあるバックスと連係した攻撃を高めてきた。節目のシーズンに新しいスタイルを根付かせ、5 大会ぶりの頂点を奪いにいく。（朝日新聞デジタル 1 月 2 日号、一部省略あり。）